

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名	心身障害者(児)紙おむつ購入費助成事業				事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	020403000494
	政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		040101
政策体系	総合計画の施策名	0204 障がい者福祉の充実		主要事業	対象外	所属課	社会福祉課	
	政策名	02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり		市長マニフェスト	対象外			
	施策名	04 障がい者福祉の充実		未来PJ事業	対象外	グループ	障がい者支援G	
	基本事業名	03 福祉サービスの充実		合併建設計画事業	対象外			
	財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	03	01	03	01	00	障害者福祉事業	
法令根拠	桜川市心身障害者(児)紙おむつ助成実施要綱							
	【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)							

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>【事務事業の概要】</p> <p>在宅の常時紙おむつを必要とする心身障害者(児)に対し、紙おむつ購入費用を助成することにより、当該心身障害者(児)の衛生の向上及び介護者の経費の負担軽減を図り、障害福祉の増進に資することを目的とする。</p> <p>【助成内容】</p> <p>紙おむつ購入費用の全部又は一部を助成する。1人につき年間(4/1～3/31)の助成限度額は36,000円(購入費用が36,000円に満たない場合はその金額まで)。年度途中で新たに心身障害者(児)となった者については、障害者となった月から3月までの月数に3,000円を乗じた額が当該年度の助成限度額になる。申請は9月と3月の年に2回、申請のあった翌月に給付する。</p>		<p>①前回申請者宛に申請書を送付する。随時相談の対応をする。</p> <p>②申請書(様式第1号)の受付(9月と3月)。申請書には紙おむつ購入費用を証する領収書(明細の分かるもの)を添付したものを受付する。</p> <p>③申請書の内容及び領収書合計金額の確認、振込口座の確認。</p> <p>④紙おむつ購入費助成決定通知書(様式第2号)を通知する。</p> <p>⑤伝票を作成し指定の振込口座へ振り込む。</p> <p>⑥交付台帳(様式第3号)を整備する。</p>	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
平成28年度 10月(4～9月分)、3月(10～3月分)の2回支給。 支給人数 延人数 100人							申請延べ人数		人	105.00	100.00	100.00	100.00	100.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
桜川市内の在宅の心身障害者(児)で常時紙おむつを必要とする者(ただし、3歳未満の者及び他制度により紙おむつの現物又は現金による給付を受けている者は除く)							身体障害者手帳所持者数		人	1,612.00	1,624.00	1,624.00	1,624.00	1,624.00
							療育手帳所持者数		人	374.00	386.00	386.00	386.00	386.00
0.00										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
障害者の衛生の向上及び介護者の経済的負担の軽減を図る							購入費用の負担が軽減された延べ申請人数			105.00	100.00	100.00	100.00	100.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量(事業費)の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,679	1,672	1,980	1,980	1,980
	事業費計(A)	千円	1,679	1,672	1,980	1,980	1,980		
人件費	正規職員従事人数		人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	0.00人	
	述べ業務時間		時間	87.00	59.00	60.00	60.00	60.00	
	人件費計(B)		千円	252	171	174	174	177	
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,931	1,843	2,154	2,154	2,157	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)				29年度事業費 予算(千円)			
	20 扶助費	1,672			20 扶助費	1,980		
			合計	1,672			合計	1,980

④ 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	心身障害者(児)紙おむつ購入費助成事業	事務事業No.	20403000494	所属課	社会福祉課
-------	---------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 在宅の常時紙おむつを必要とする心身障害者(児)に対し、紙おむつ購入費用を助成することにより、当該心身障害者(児)の衛生向上及び介護者の経費負担の軽減を図るために開始された。平成18年度までは65歳未満に限定されていたが、19年度から年齢制限を解除した。また、手帳を所持する心身障害者全体に範囲が拡大された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 紙おむつ購入費を助成することにより、当該心身障がい者(児)の衛生の向上及びその家族の経済的負担の軽減を図ることができている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 在宅で障がい者を介護している者の負担を軽減するため。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 介護者の負担が軽減されている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 費用が増大し、経済的な負担が大きくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 障がいやその程度を限定することで事業費は削減できるが、助成を受けられなくなる者が出てくるため削減余地はない。人件費についても必要最低限であるので削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 年額の助成限度額が決まっており、その範囲内で助成しているので偏りはない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 紙おむつ購入費を助成することにより、当該心身障がい者(児)の衛生の向上及び介護者の経費の負担軽減を図ることができており、障がい福祉の増進につながっている。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---